

3

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第21集

KANAI

金井城跡Ⅲ

長野県佐久市小田井金井城跡第3次発掘調査報告書

1993.3

佐久市
佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第21集

KANAI
金井城跡Ⅲ

長野県佐久市小田井金井城跡第3次発掘調査報告書

1993.3

佐 久 市
佐久市教育委員会

【例言】

*本書は、佐久市土木課による市道5-2号線改良工事に伴う、金井城跡の第3次調査報告書である。

*調査委託者 佐久市
*調査受託者 佐久市教育委員会
*発掘調査地籍 金井城跡（略称 ONKⅢ）
佐久市大字小田井字南金井
*調査期間および面積 平成4年4月6日～4月15日
面積2,000㎡

*調査体制

佐久市教育委員会

教育長 大井季夫

教育次長 奥原秀雄

埋蔵文化財課

課長 上原正秀

管理係長 桜井牧子

埋蔵文化財係長 草間芳行

埋蔵文化財係 高村博文 林幸彦 三石宗一 須藤隆司 小林眞寿 羽毛山卓也

調査担当者 小林眞寿

調査員 和久井義雄 堀籠滋子 荒井ふみ子 五十嵐勝吉 小林まさ子

金沢花子 高橋ふみ 森泉欽一 茂木とよ子 小林立江

*本書の編集・執筆は小林がおこなった。なお、遺跡の立地・環境、基本層序については1991年刊行の「金井城跡」で詳細に述べられているため、本書では省略した。

*本書中における図面縮尺・記号・用語等の表現は1991「金井城跡」に準じて行った。

*本書および出土遺跡・記録類は全て佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

【目次】

例言

I 調査の経緯

- 1 調査の経緯と経過..... 2
2 調査日誌..... 2

II 調査の結果

- 1 遺構と遺物..... 3

III まとめ..... 5

図版

付図

I 調査の経緯

1 調査の経緯と経過

金井城跡は佐久市北端部、小田井地区に位置し、標高750～780mを測る湯川右岸の田切り台地上に立地する。

平成4年、昭和62・63・平成元年度にわたり実施されてきた市道5-2号線改良工事が、平成元・2年度に小田井工場団地造成事業に伴い発掘調査された金井城跡の調査区北端部分隣接地に延長されることとなったため、遺跡の破壊が余儀なくされる事態となった。そこで、佐久市教育委員会が佐久市より委託を受けて発掘調査を実施することとなった。

2 調査日誌

平成4年

- 4月4日 器材搬入。
- 4月6日 堀の掘り下げ。重機による表土の除去。
- 4月7日 堀の掘り下げ。基準杭設定。
- 4月8日 堀の掘り下げ。
- 4月9日 堀の掘り下げ終了。検出開始。
- 4月13日 検出終了。
- 4月14日 Pit半裁、覆土記録、完掘、平面図作成。試掘時に遺構として捉えたものの大半が、木の根による攪乱であることが判明。
- 4月15日 Pitの処理、平面図の作成、空測の準備等現場調査の全てを終了し器材を撤収する。
- 4月21日 空測。

平成5年 1～3月 報告書作成。



Ⅱ 調査の結果

1 遺構と遺物

遺構 (付図)

検出された遺構は、金井城跡第1次調査で検出されたM21の未調査部分とおそらくは、M3とM4の接続部分の堀址。これらに流入、流出する自然流路とPit群であった。

実は、今回の調査区は金井城跡の第1次調査時点において、虎口が推定された範囲の一角であった。つまり、堀址M21と、接続が想定されたM3・M14の未調査部分、ないしはその北方部分に虎口が存在するであろうと調査区内部では考えていた。しかし、M3とM14の接続の有無は確認できなかったが、M4とM3の接続部分と想定される「U」字状に屈曲する堀址が検出されたことにより、M3・M4間の外郭、M3・M14間の外郭が金井城跡の梯郭式の縄張りに沿って区画されている姿がより鮮明になった。また、M21の北に検出されたPit群の存在は、この部分をM21と共に区画する堀址の存在を暗示している。その堀址がM5であるのか、まったく別の堀址であるのかは今後の大きな課題である。

検出されたPit群の性格は明瞭な柱痕を看取できるものではなく、配置についても規格性を有さないことから建物址を構成するものではないと考えられるが、性格は不明と言わざるをえない。また、覆土については木の根による掘乱とは様相を異にしており、金井城跡第1次調査において多数検出されたPitと同質のものであった。

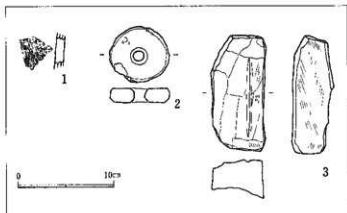
遺物 (第1図)

第1・2次調査時と同様に、今回の調査においても遺物の出土量は極めて少なく石製品2点、土器片1点の計3点のみであった。以下、個別に概略を記す。

1はPit30より出土した内耳鍋の体部片である。外面へら削り、内面ナデ調整が施されており、胎土には雲母・白色粒子が多含まれている。10Y R 7/3の色調を呈する。

2は金井城跡報告書において「紡錘車？」として分類された軽石製の石製品である。

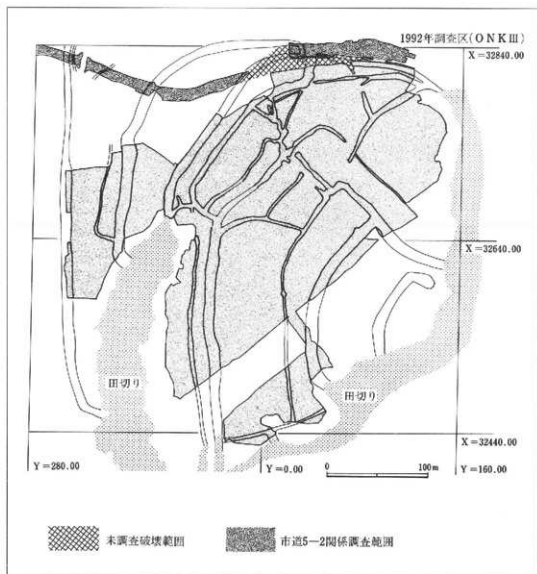
最大径62ミリを測る不整円形を呈し、中心にφ11ミリの円孔が穿たれている。全面を磨ってつくられている。このような形状を呈する遺物は土



第1図 出土遺物実測図

器片を再利用してつくられたものも該期には散見されるが、その用途については不明である。

3は流紋岩製の砥石である。6面中4面が使用されており、内1面には溝状の深い捺痕が認められる。M3・M4「U」字状屈曲接続部中央底面より出土した。



第2図 金井城跡発掘調査範囲図

Ⅲ まとめ

昭和63年に金井城跡の調査が実施されて以来4年の歳月が流れた。当時、駆け回った現場は平地に削平され、整然とした道路の区画内にはモダンなデザインに統一された工場が立ち並んでいる。大規模な開発が実施されれば当然のことながらその周辺部も徐々にしかし確実に新たな開発により様変りをする。金井城跡も例外ではありえなかった。

金井城跡は前代未開の8万㎡に及ぶ面調査が実施された。しかし調査範囲を超えて更なる広がりをもっていた。城郭の中心部分、すなわち主郭部分は保存され現在に至っているが、虎口は不明なままであり、現時点で確認されている金井城跡の最外縁の堀址M5がどのように展開するのか、さらに外縁に堀址が存在するのか否かも不明のままである。しかし、調査当時我々に提示された開発範囲と実際に開発された部分が微妙に異なっており、未調査のまますでに消滅してしまった部分が存在し、更に今回の調査区の東方部分は民間業者による土取りにより広大な面積が削平されてしまった。

市道5-2号線改良事業が終了したならば金井城跡周辺の開発が一段と速度を増すことは明らかである。今回のような、いわば行き違いにより未調査消滅部分が出現することは避けなければならない。

金井城跡の調査はまだ完結してはいない。しかし、それが調査がされないがための未完ではないことを願う。また、そうならないように努力しなければならない。

引用・参考文献

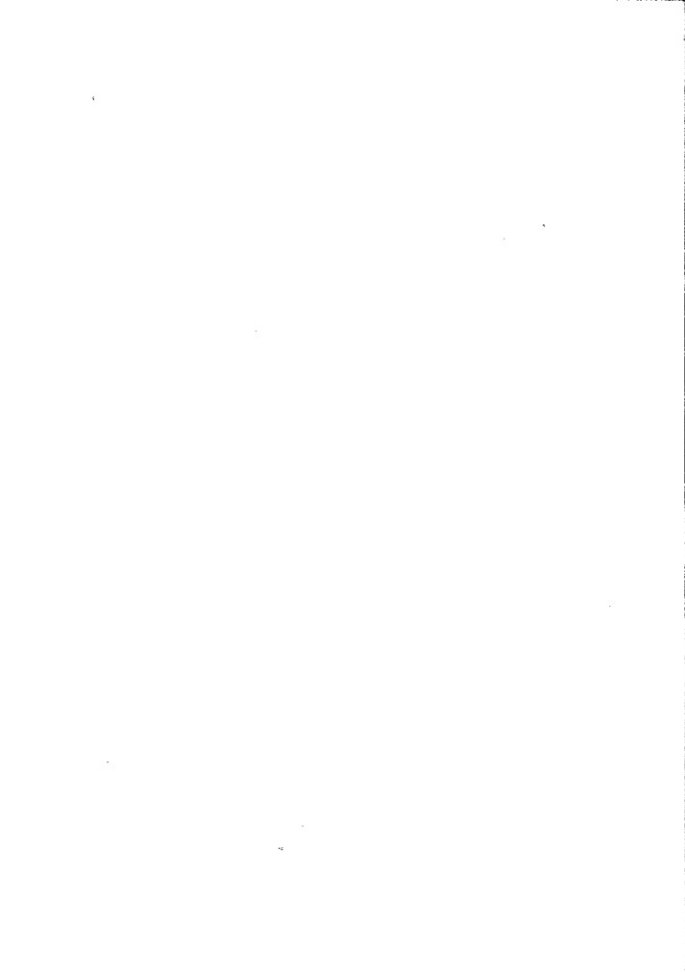
- | | | |
|------|-------|---------------------------|
| 1990 | 中金井II | 佐久市教育委員会
佐久埋蔵文化財調査センター |
| 1991 | 金井城跡 | 佐久市教育委員会
佐久埋蔵文化財調査センター |

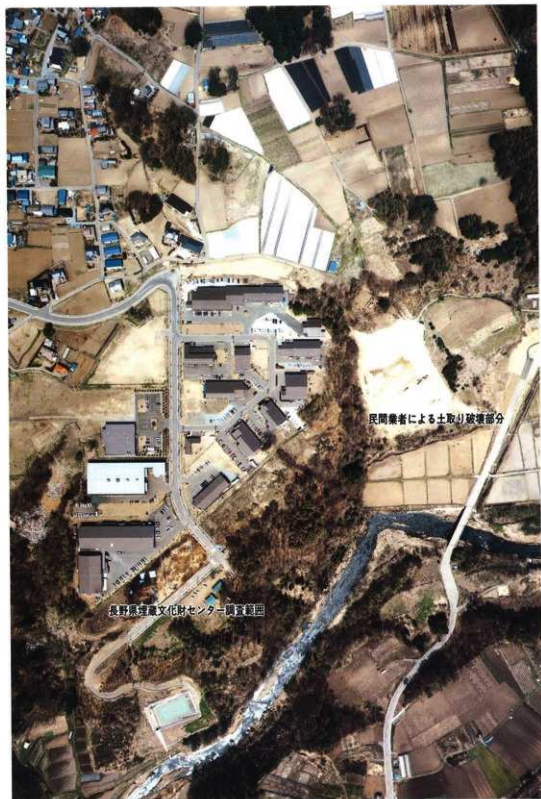
Pit 一覧表

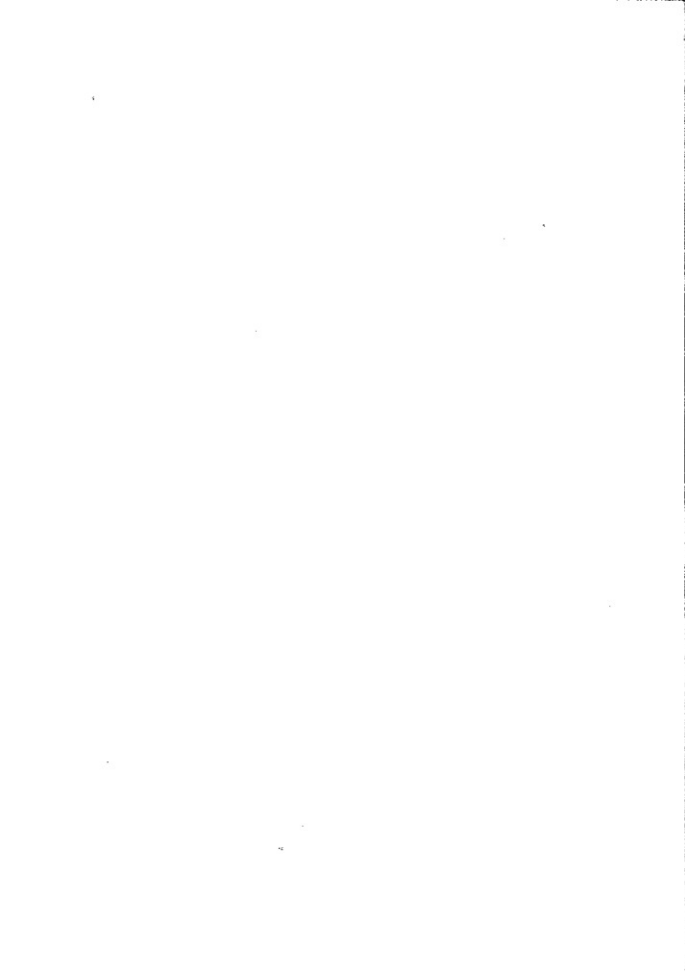
No.	長径	深度	覆 土	備 考
1	90	36	1-10YR5/3・2-10YR8/4・10YR5/3混在	
2	112	36	10YR8/4・10YR5/3混在	
3	100	53	10YR8/4・10YR5/3混在	
4	44	15	10YR2/1	
5	44	16	10YR2/1	
6	54	23.5	10YR5/3	
7	56	24	10YR5/3	
8	70	17	10YR2/1	
9	62	19.5	10YR5/3	
10	70	22.5	10YR5/3	
11	44	31	10YR5/3	
12	48	35.5	10YR5/3	
13	42	19	10YR3/2	
14	48	20.5	10YR5/3	
15	72	34	10YR5/3	
16	70	38	10YR3/2	
17	90	20	10YR3/2	
18	52	21	10YR5/3	
19	104	43	10YR5/3	
20	58	25	10YR5/3	
21	52	26	10YR2/1・10YR5/3の混在	
22	69	26	10YR5/3	
23	60	29.5	10YR5/3	
24	42	12.5	10YR5/3	
25	60	24	10YR3/2	
26	72	32	10YR5/3	
27	60	46	10YR5/3	
28	46	23	10YR3/2	
29	108	35	1-10YR3/2・2-10YR8/4	P15に切られる
30	78	34	10YR2/1	
31	112	26.5	10YR4/2	
32	62	26.5	10YR3/2	
33	76	48	10YR5/3	
34	66	33	10YR3/2	
35	55	20	10YR3/2	
36	64	48	10YR2/1	



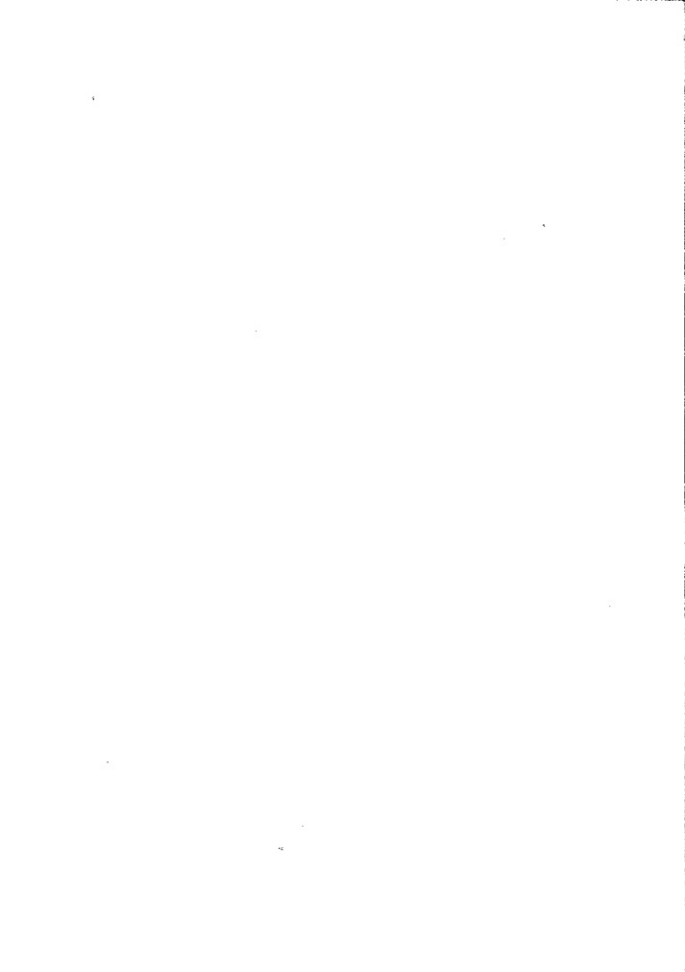
金井城跡付近航空写真（株式会社協同測量社撮影）



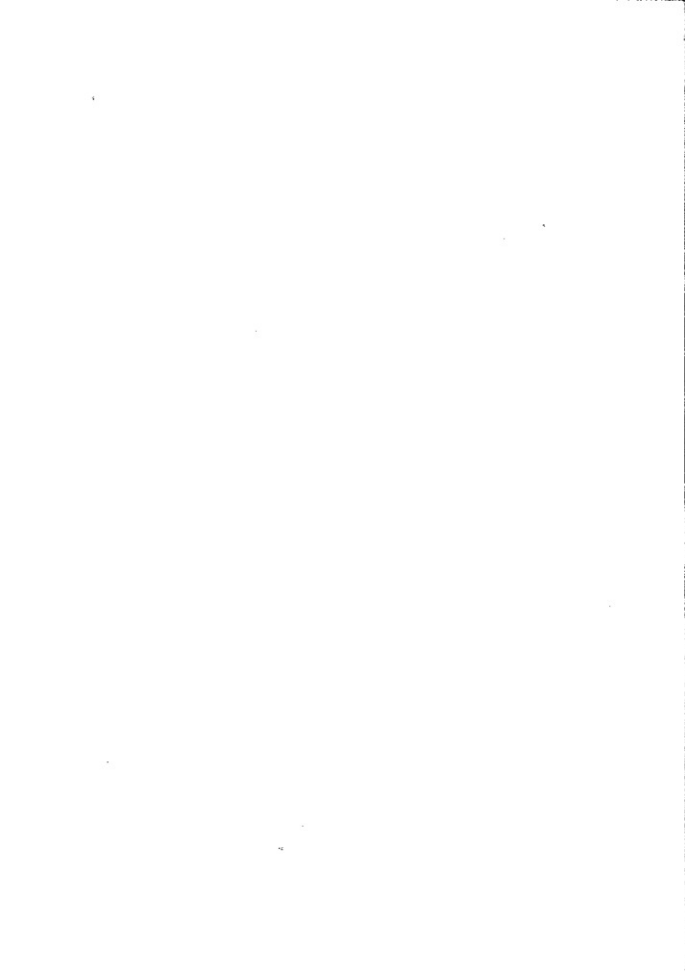














M3・M4 接続部分（東から）



自然流路



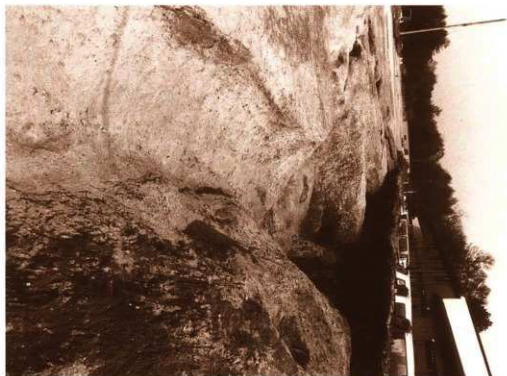
M3・M4 接続部分 (北東から)



M3・M4 接続部分 (北から)



M3・M4 接統部分中央



M3 (西から)



調査区近景（西から）



出土遺物（1-1・1-2・1-3）

佐久市埋蔵文化財調査報告書

- 第1集『金井城跡』
- 第2集『市内遺跡発掘調査報告書1990』
- 第3集『石附宮址評田』
- 第4集『大ふけ遺跡』
- 第5集『立科F遺跡』
- 第6集『上曾根遺跡』
- 第7集『三賀畑遺跡』
- 第8集『池の下遺跡』
- 第9集『田道141号線関係遺跡』
- 第10集『聖原遺跡II』
- 第11集『赤岸垣外遺跡』
- 第12集『岩宮遺跡II』
- 第13集『上高山遺跡』
- 第14集『栗毛坂遺跡』
- 第15集『野馬久保遺跡』
- 第16集『石並城跡』
- 第17集『市内遺跡発掘調査報告書1991』
- 第18集『西曾根遺跡』
- 第19集『上芝宮遺跡』
- 第20集『下聖垣III』

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第21集

金井城跡Ⅲ

長野県佐久市小田井金井城跡第3次発掘調査報告書

1993年3月31日

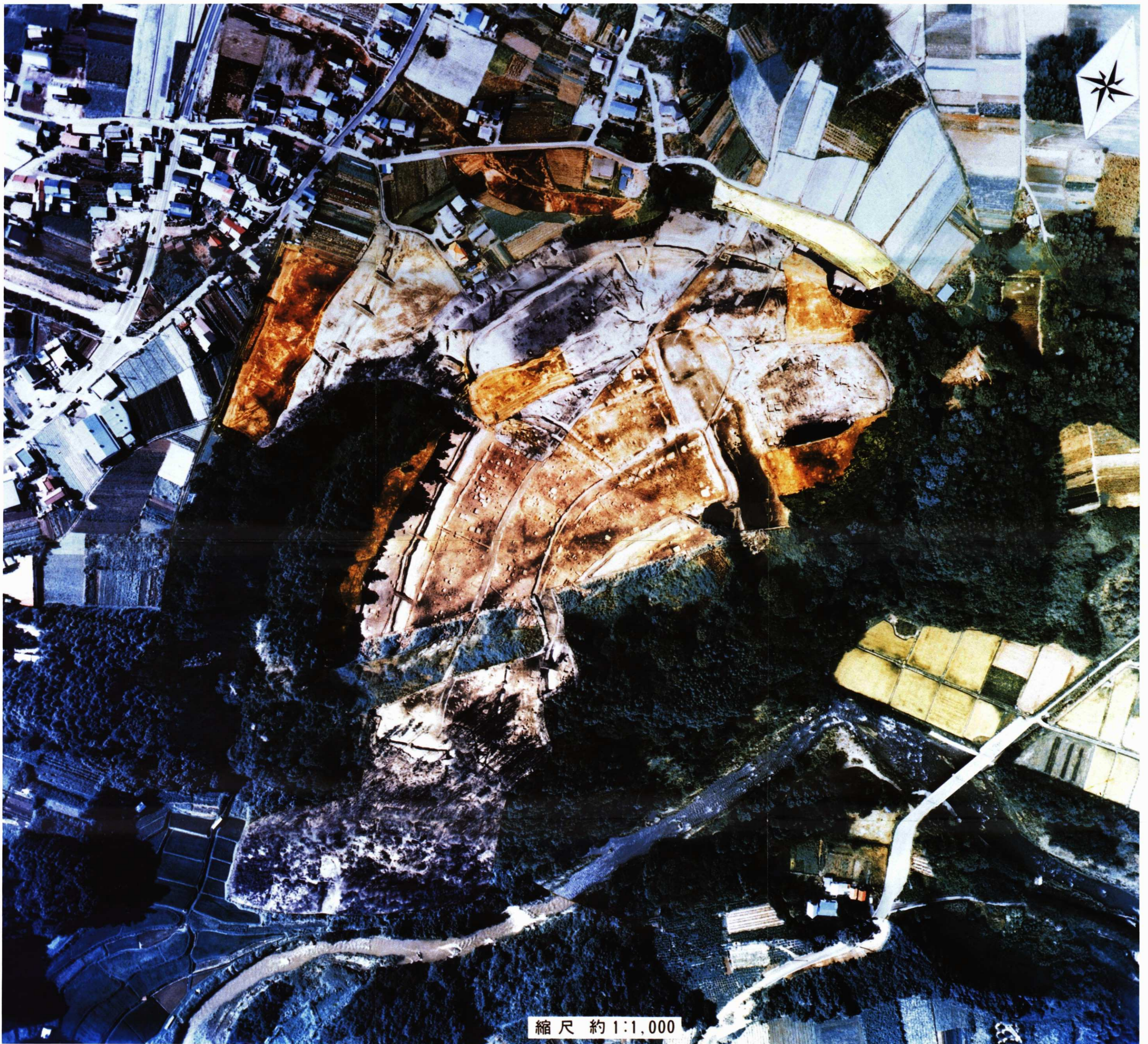
編集 佐久市教育委員会

発行 佐久市・佐久市教育委員会

〒385 長野県佐久市大字志賀5953

TEL 0267-68-7321

印刷 第一法規出版株式会社



縮尺 約 1:1,000

付図 金井城跡発掘調査全景

付図 1-(1) 金井城跡全体図

(S=1/250)

